古絵図で歩く

# 高野山文化財マップ

## －奥の院地区－

歩いて知るきのくに歴史探訪 高野山奥の院を巡る

## 凡例

- 高 文化財建造物
- 野 発掘調査箇所（埋蔵文化財）
- 山 史跡（石造物）
- 現存しない建物・石造物

## 文化財位置図

埋蔵文化財の発掘調査箇所

| | 調査名・調査の原因・種類 |
|---|---|
| 1 | 奥の院御廟と周辺の整備に伴う埋蔵文化財調査 |
| 2 | 第二灯籠堂建設に伴う発掘調査 |
| 3 | スキー場・アスレチック建設に伴う分布調査 |
| 4 | 南海電鉄霊園墓地造成に伴う発掘調査 |
| 5 | 奥の院墓建立に伴う発掘調査 |

■ 史跡金剛峯寺境内

文化財建造物の指定物件

| | 名称 |
|---|---|
| A | 金剛峯寺奥院経蔵 |
| B | 松平秀康及び同母霊屋 |
| C | 上杉謙信霊屋 |
| D | 佐竹義重霊屋 |

■ 重要文化財

史跡（石造物）・天然記念物

| | 名称 |
|---|---|
| a | 高野山町石 |
| b | 金剛峯寺境内 |
| c | 豊臣家墓所 |
| d | 崇源夫人五輪石塔 |
| e | 高麗陣敵味方戦死者供養碑 |
| f | 禅尼上智碑 |
| g | 武田信玄・武田勝頼墓地 |
| h | 奥の院の大杉林 |

■ 国指定史跡 ■ 県指定史跡 ■ 県指定天然記念物

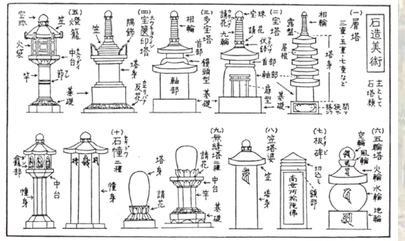
### 高野山　奥の院地区の文化財位置図 S=1/15000

a:金剛峯寺境内
b:高野山町石

## 解説 石塔

石塔は、一般的に層塔・宝塔・多宝塔・宝篋印塔、五輪塔、板碑、笠塔婆、無縫塔、石幢の九種類があげられます。これらの石塔は、逆修供養（生前供養）、追善供養のため、そして墓石として死者供養のために建立されました。高野山奥の院でみられる石塔の多くは五輪塔ですが、宝篋印塔、無縫塔、笠塔婆なども多く見られます。

それぞれの石塔にはその背景となる仏教思想が存在し、五輪塔では、仏教的宇宙観である大日如来を表しています。仏教的宇宙観とは、五輪塔に刻まれた五つの「地・水・火・風・空」の梵字に代表されるものと考えられます。中世以降、供養塔として五輪塔が主流となるとともに、他の石塔も同様の意味をもつものと理解されるようになります。奥の院では弘法大師信仰とともに石塔が盛んに建立されてきました。




図の出典：『史蹟美術調査必携』川勝政太郎より

## 解説 古絵図で歩く高野山文化財マップ

### ～古絵図「高野山全山及び周辺の絵図」持明院蔵　解説～

この文化財マップは、江戸時代の古絵図「高野山全山及び周辺の絵図＜江戸時代後期：持明院蔵＞を元に、高野山奥の院の発掘調査地点や、文化財建造物、石造物を重ね合わせたものです。

この絵図の全編には、高野山の参詣道中での様々な場面が描かれており、紀ノ川の渡し船、天皇の行幸風景や、女人堂に礼拝する女性の姿などが描かれています。おそらく、当時の高野山の参詣状況を示した絵図と考えられます。

奥の院の各石塔には、人名が表記されています。現在の場所とは異なる石塔もありますが、「織田信長」・「太閤秀吉公」など、皆さんがよく二存じの人物名も描かれています。さらに、中の橋付近には、嵯峨天皇の供養塔が描かれています。そこには『弘安二歳四月朔日』（1279 年）と建立年が示してあり、存在すれば高野山内で三番目に古い石塔です。しかし、残念ながら、明治の絵図から姿を消し、現在は存在しません。

江戸時代の絵図に描かれた石塔と、現在の石塔を見比べて歩いてみてはいかがでしょうか。

古絵図の出典：『高野山古絵図集成』
日野西真定編・著　清榮社より